

街道歴史たんけんコース

[目的] 東海道を歩きながら、草津市の文化財や歴史を学ぶ。草津の人々が守り受け継いできた文化財や年中行事の様子やそれを守ってきた地域の人々の思いを理解し、草津の持つ歴史を知る。東海道を歩きながら、草津の奈良時代から現代までの歴史に触れる。

[対象学年] 6年生

[所要時間] 約2時間30分～3時間

[事前・事後学習] 応相談（出前授業にも対応） [学校からの移動手段] 徒歩、公用バスも検討中

[活用資料] 街道豆本（裏面に記載）、ワークシート、東海道たんけんマップ

[内容]

立木神社から道標までの東海道沿いにある文化財を見学しながら歩く（ルートや見学する場所の組み合わせなども応相談）。

コース（例） 立木神社 → 常善寺 → （Aコース 草津宿街道交流館→史跡草津宿本陣）（Bコース 史跡草津宿本陣→草津宿街道交流館） → 追分道標

※ポイントごとに学芸員が解説を行う。

※スタート時に自分で見学した場所や気になった点などを記入する地図を配布。

→ 学芸員や当日の配布資料を基に「東海道たんけんマップ」を作成する。

★ポイント★

奈良時代から現代までの草津の歴史に触れることができ、草津の歴史の奥深さを知ることができる。

- ①立木神社・・・奈良時代の創建とされ、境内には江戸時代の道標も残る。また、サンヤレ踊りが行われる神社でもあり、地域住民との結び付きも強い。
- ②常善寺・・・鎌倉時代の仏像が国の重要文化財に指定されている古刹（通常非公開）。
- ③草津宿街道交流館・・・浮世絵刷り体験や衣装体験等を通して、江戸時代を体感できる。
- ④史跡草津宿本陣・・・現存する本陣としては東海道沿い最大級を誇る。実際の歴史資料に触れることで歴史を身近に感じるとともに文化財の保護についても学ぶ。
- ⑤追分道標・・・東海道と中山道が実際に出会う道標。

→短い距離の中にもさまざまな時代の要素が隠れていること、そして、それがサンヤレ踊りや東海道沿いの商店街など現在にもつながっている要素を多く含んでいることを学ぶ。

⇒歴史は自分達とはまったく関係ない大昔のことではなく、現代までの自分達の生活にも関係していることを知る。